

■新潟県立 こども自然王国（柏崎事業所）

- 住 所**：新潟県柏崎市高柳町高尾 30-33 **■TEL**：0257-41-3355
■H P：http://www.garuru-kururu.jp/ **■FAX**：0257-41-3315
■施設概要：高柳町の地域づくりの拠点として全国で3番目に設置された定員 180 名の温泉宿泊施設を持つ大型児童館。体験工房、野外園地、キャンプ場、スキー場などを有し、豊かな自然を活かした体験プログラムや地域と連携した伝統文化体験など週末は家族向けに平日は学校団体向けに提供している。県内のセンター児童館として研修会も実施している。
■発 注 元：柏崎市
■受 託 年：平成 17 年 4 月～管理運営・プログラム企画、平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月第一期指定管理者、平成 24 年 4 月～平成 29 年 3 月第二期指定管理者、平成 29 年 4 月～第三期指定管理者
■職員人数：常勤 15 名、非常勤 20 名



こども自然王国・本館



遊具広場



キャンプ場

●主な業務内容

- 日常的な来場者への対応／年間約 8 万人
- 学校・保育園等団体の自然教室、林間保育の対応／プログラムの企画・実施
- 個人・家族向けプログラムの企画・実施
- イベント型プログラムの企画・実施
- 調査・研究
- 地域ネットワーク事業
 - ・移動児童館、子育て支援、地域と連携した体験プログラム、また地域資源を活用した野外活動の実施
- 養成・研修事業
 - ・児童育成指導者、児童厚生員、放課後児童支援員、ジュニアリーダーの養成及び育成
 - ・学生、生徒の施設実習や職場体験、総合学習の受け入れ実施
- スキー学習
 - ・スキー教室の実施
 - ・柏崎市との共催事業の実施
- 宿泊・キャンプ場運営、プラン企画・実施
- 飲食の提供、食育事業の推進
- 施設・備品の維持管理業務

●業務経歴

- 1991～1992 年：ふるさと開発協議会アドバイザーとして、滞在型交流観光における自然と共生する地域づくりのアドバイスをを行った。
- 1991 年：こども自然王国、基本構想の作成。
- 1992 年：遊び方ソフト開発。
- 1997～1999 年：じよんのびツーリズム、モデル構想の作成。
- 2000～2004 年：じよんのびガイドマップの作成
- 2005 年度より、市町村合併に伴い、管理運営業務を委任される。
- 2009～2012 年度：指定管理者（第一期）として業務に当たる。
- 2012～2016 年度：指定管理者（第二期）として業務に当たる。
- 2017 年度より指定管理者（第三期）として業務に当たる。
- 2018 年から柏崎市「番神自然水族館事業」における自然観察指導を受託。

●令和2（2020）年度実績

- 利用者総計：48,571人
 - 宿泊利用者：2,153人
 - キャンプ場利用者：902人
 - 日帰り利用者：37,055人
 - スキー場利用者：8,461人
- 団体利用者（延べ人数）
 - 宿泊：41団体、1,692人
 - キャンプ：利用団体なし
 - 日帰り：83団体、3,146人
 - スキー場：24団体、1,158人
- 地域別利用者数
 - 宿泊：県内1,991人・県外162人
 - キャンプ：県内785人・県外117人
- 体験プログラム参加者
 - 平日学校等団体：7,048人
 - 週末一般：2,766人
 - イベント型活動：1,957人
 - 無料型活動：331人
 - スキー教室：248人
- スキー場索道輸送人数：39,615人
- 利用者アンケート回答数：605件
- 新潟県による施設の大規模改修工事
令和2年7月1日～令和3年3月31日
- 新型コロナウイルスの影響により、利用者が一番多いゴールデンウィークに臨時休館したこと、異常気象により野外活動が制限されたこと、7月からの大規模改修工事（3年目）により受け入れ人数が制限されたことで、大幅に利用者減となった。
- 学校団体の自然教室は、9月・10月に延期され体験プログラム活動を実施、過去最高の利用者数及び売上を記録した。
- 柏崎市より「番神自然水族館体験業務」を受託し、山間地域だけでなく海のプログラムを展開。毎年、行政及び参加者から高い評価を得ている。
- 豪雪の冬、感染症が流行りやすい冬ですが、防止対策・安全管理を強化し運営、結果利用者は増加した。

●施設の特徴

新潟県立こども自然王国は、柏崎市高柳町にある宿泊型大型児童館である。屋内には宿泊棟、温泉、児童館、体験室、プレイホール、屋根つき広場、レストランなどがあり、屋外には大型遊具、バーベキュー広場、キャンプ場、自然観察路、野売店、自然工作館など設備されている。また、冬には高柳スキー場の管理運営もしている。こども自然王国は「泊まる」「遊ぶ」「学ぶ」事のできる全国でも数少ない児童館である。（野外活動施設と宿泊施設を併せ持つ児童館は全国で3か所である。）



周囲は里山（田んぼや森林）、黒姫山、鯖石川など豊かな自然に恵まれており、高柳の自然と文化を体験的に学ぶことのできる様々なプログラムを用意している。専門の指導スタッフである児童厚生員（プレイリーダー）が常駐し、質の高いプログラム展開が可能であり、平成7年の開館以来毎年およそ20,000名の方にプログラムを体験していただいている。又、宿泊を伴った自然教室などでも多くの学校団体から利用していただいている。

●主な体験プログラム実績

①各種工作体験・野外ラリー

雪害による倒木を活用しての各種工作体験を実施。またエリア内の自然を満喫しながら、クエストに挑戦する野外ラリーも好評でした。



②ちびっこ隊「くるるクラブ」

幼児とその家族を対象に、「秋のミニ運動会」を開催し、自然の中で楽しく身体を動かしながら、家族や子育て仲間とのコミュニケーションを大切に交流できる場を作った。



③「女子会プラン」

中学生～大人の女性限定プランで、多世代の交流や大人の方も児童館を知ってもらう機会を目的としている。地域の匠を招き「なわな文化体験」を参加者9名で実施。



④「カヌーまつり」

敷地内を流れる鯖石川で、親子8組20名の参加者にて実施。事前の安全講習や操作方法を聞く姿・カヌー乗車時は、緊張している様子でした。終盤は、上流へ探検に出発。頑張っている親に、子どもたちが指導する場面が見られた。



⑤「トンボとり大作戦」

昆虫を捕まえることで、周辺の自然の豊かさに触れ、よく観察することで、その魅力や不思議な能力を知ることができる。思いのほか、大人の方が真剣に網を振る姿が印象的でした。

わんぱく広場や河川公園にて、親子20組45名で実施した。



●柏崎市主催事業 業務受託

「番神自然水族館」

番神海水浴場にて、7月18日～8月16日の土日・祝日の13日間1日2回、海の生き物観察を開催。26回の体験業務で、参加者累計420名であった。期間終了後、「番神の生き物図鑑」を作成、参加者家族へ送付した。



●養成研修事業

「柏崎ジュニアリーダー研修」

地域の小学5年生～中学3年生を対象に、野外活動・レクリエーション活動、創作活動を実施。野外活動に必要なテント設営・道具の使い方、地図の読み方をグループで体験し、その後子どもたちが主体となって考えた野外ゲームの発表を行った。



●地域連携

隣接する「じょんのび村」と合同イベントを11月・12月・3月に開催。地域行事に合わせ、地元企業・団体と協力し、遊びの屋台やおいしい屋台など実施、エリア及び衰退するじょんのび村を盛り上げた。



●野外特別イベント

9月の連休(4日間)に、水をテーマとして野外イベントを実施。自然の中、ブルーシートを使ったウォーターズライダーや水鉄砲大会、鯖石川でのカヌー体験を行った。



●高柳スキー場

こども自然王国の附帯施設で、ファミリー向けのスキー場であり、本館からは車で約5分の距離に位置している。全長424mのペアリフトが備わったゲレンデには、緩やかな斜面が広がり、お子様連れの家族でも安心して滑走することができる。また、ソリ専用コース・雪遊びコーナーも整備されており、スキーやスノーボードができない子でも十分楽しめること間違いなし。レストランの営業も専門スタッフがを行い、豊富な季節限定メニューを取り揃え提供、テイクアウトできる商品も販売している。



平日は、柏崎市内の小学校のスキー授業や保育園児のソリ体験など、授業や雪遊びの一環として利用される。また、年配の方にも利用しやすいゲレンデ状況のため、シニア層の利用が多いのも特徴である。

週末は、小学生や幼児がいるご家族の利用がほとんどで、スキー・スノーボードのレンタルも取り扱っているため、初心者の方でも気軽に来場できる。



この高柳地域は豪雪地帯で、令和2年度スキー場最高積雪290cmを記録した。

- 索道運行日数：累計75日間
- レストラン営業日数：累計113日間
- 人身障害事故・雪上車両事故等なし
- 豪雪による休止 2日間
- 強風による休止 4日間
- ・最大瞬間風速 22%
- 行政指導なし

期間中は毎週末「スキー講習会」や幼児向けの「スキーようちえん」を開催して大変な賑わいであった。また、SAJバジジテストや雪上レクリエーション等も実施、スキーを初めて履く幼児から上級者まで、多くの方に利用いただけるような取り組みを行った。



柏崎市主催事業「市民スキースクール」・「市民スノーボードスクール」の運営業務を受託、指導員の手配から事前準備、当日の検温・消毒・受付・食事の提供・備品の貸し出し・安全管理を実施した。計5回のスクールで91名の参加者であった。(3回目は強風のため中止)

次年度は、回数を増やして実施したいと考えている。

イベントやスクールは、地域・地元スキー連盟と協働で開催するものもあり、柏崎地域にはなくてはならない冬期間の体育施設の一つとなっている。